

決算説明資料

2022年度 第3四半期

2023年2月10日

日本電解 株式会社



Contents

1. 2022年度 第3四半期累計 決算概要
2. 2022年度 連結業績予想および進捗状況
3. 参考資料



経営成績

- 売上高 12,717百万円 (前年同期比 17.8%減)
- 営業利益 △870百万円 (前年同期比 1,761百万円減)
- EBITDA 61百万円 (前年同期比 1,766百万円減)

業績概況

- 上期から引き続き、厳しい販売環境が続いている
 - 車載電池用銅箔：半導体供給不足が長引きxEVの生産抑制が続いた
 - 回路基板用銅箔：スマートフォン向け需要低迷、車載用回路基板の需要減
- 営業利益 △870百万円
 - 日米ともにエネルギー価格高騰、需要減少による操業度低下により製造原価上昇
- 生産数量は全品種合計で6,592トン (前年同期比29.2%減)



Contents

1. 2022年度 第3四半期累計 決算概要
2. 2022年度 連結業績予想および進捗状況
3. 参考資料

2022年度 Q3 累計 業績 (連結ベース)



- 売上高は、車載電池用は販売量減少、回路基板用は総じて需要低迷
- 営業利益は、日米ともにエネルギー価格高騰、需要減少による操業度低下で製造原価が押し上げられた

(百万円)	2021年度 Q3 累計	2022年度 Q3 累計	前年差	増減率
売上高	15,469	12,717	△ 2,751	△ 17.8%
うち 車載電池用銅箔	10,119	8,464	△ 1,654	△ 16.4%
うち 回路基板用銅箔	5,349	4,252	△ 1,096	△ 20.5%
営業利益	890	△ 870	△ 1,761	—*
経常利益	874	△ 1,055	△ 1,929	—*
親会社に帰属する四半期純利益	632	△ 994	△ 1,626	—*
生産トン数	9,309	6,592	△ 2,717	△ 29.2%

上記の表では「端数切捨て」で表示を統一しております。なお比率の数値は、1円単位で計算しておりますので端数処理後の数値とは結果が一致しないことがあります。

* 赤字と黒字の比較となるため、増減率の表示を省略しております。

2022年度 Q3 累計 営業利益及びEBITDA (連結ベース)



(百万円)	2021年度 Q3 累計	2022年度 Q3 累計	前年差	増減率
売上高	15,469	12,717	△ 2,751	△ 17.8%
売上原価	13,789	12,602	△ 1,187	△ 8.6%
売上総利益	1,679	114	△ 1,564	△ 93.2%
売上総利益率 (%)	10.9%	0.9%	△ 10.0pt	—
販売費及び一般管理費	788	985	196	24.9%
販管費比率 (%)	5.1%	7.7%	2.6pt	—
営業利益	890	△ 870	△ 1,761	—*
営業利益率 (%)	5.8%	△ 6.8%	△ 12.6pt	—
減価償却費	937	932	△ 4	△ 0.5%
EBITDA	1,827	61	△ 1,766	△ 96.6%
EBITDAマージン (%)	11.8%	0.5%	△ 11.3pt	—

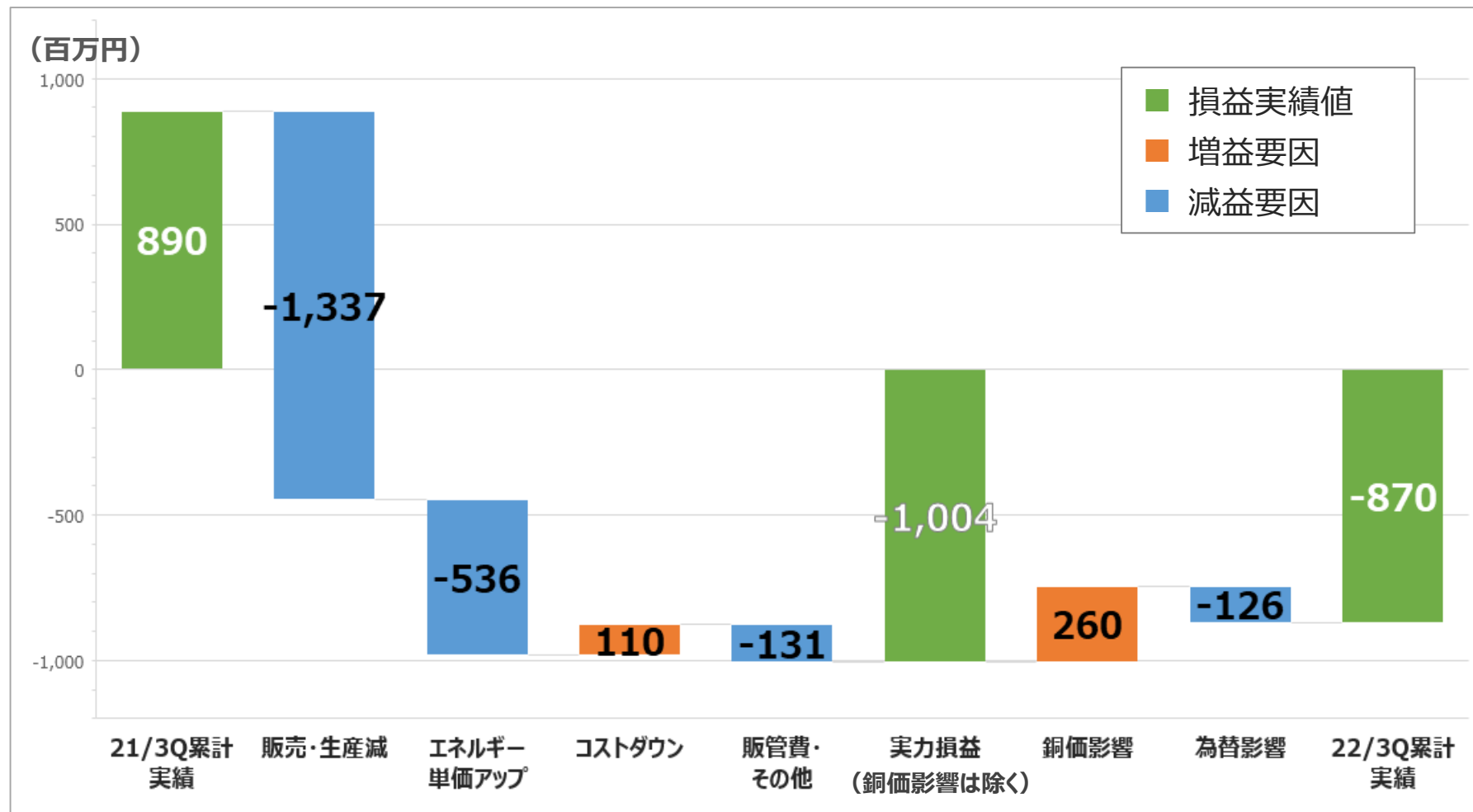
上記の表では「端数切捨て」で表示を統一しております。なお比率の数値は、1円単位で計算しておりますので端数処理後の数値とは結果が一致しないことがあります。

* 赤字と黒字の比較となるため、増減率の表示を省略しております。

営業利益 Q3 累計 増減要因 (連結ベース)



- 販売減と生産数量減少による操業度低下
- 日米ともにエネルギー価格高騰により製造原価が押し上げられた





Contents

1. 2022年度 第3四半期累計 決算概要
2. 2022年度 連結業績予想および進捗状況
3. 参考資料



(百万円)	FY2022 通期見通し	2022年度 Q3 累計
売上高	17,700	12,700
うち 車載電池用銅箔	11,600	8,400
うち 回路基板用銅箔	6,100	4,200
営業利益	△1,000	△ 800
経常利益	△1,200	△ 1,000
親会社株主に帰属する当期純利益	△1,100	△ 900
EBITDA	200	60

見通しの単位に合わせ、実績数値も億単位の切り捨て表示となっております。

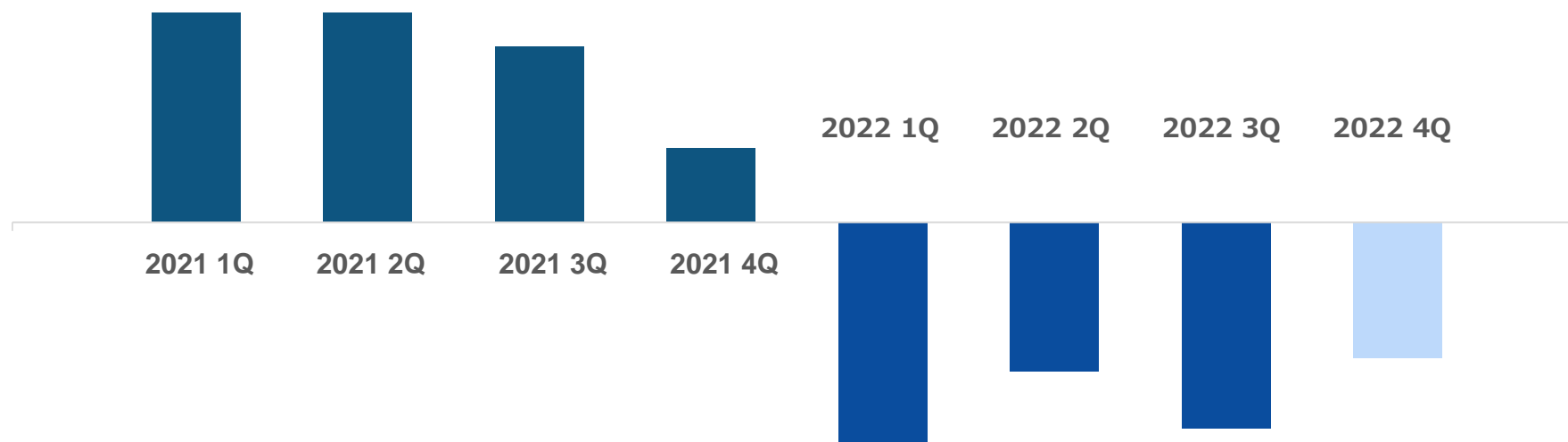
<参考> FY2022 業績見通しの前提

生産数量 : 8,700トン

銅相場価格* : 1,200円/Kg

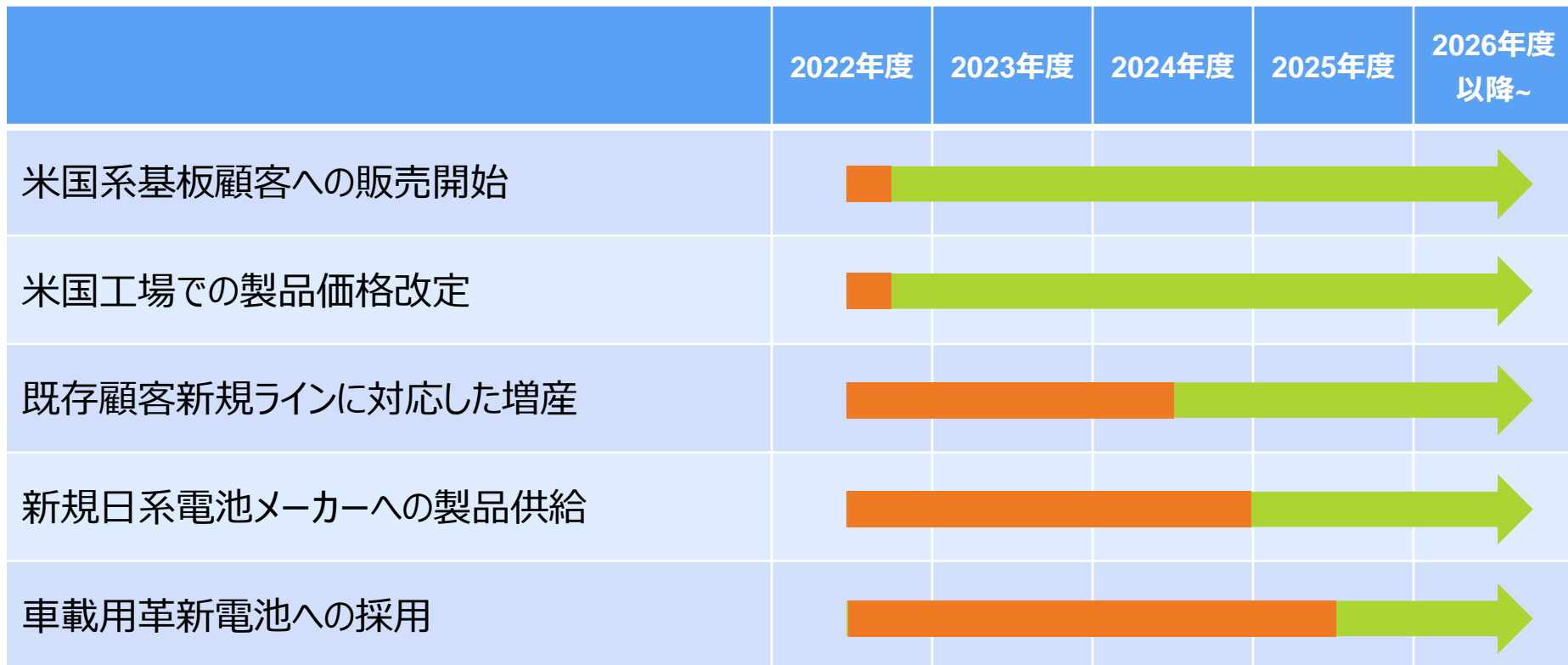
*「銅相場価格」はJX金属から公表されている日本国内の銅価格です。

- 第4四半期は、以下要因により下振れ
 - ・電力価格反映目標未達
 - ・電池および回路基板分野における銅箔需要回復遅れにより第2四半期公表時点の計画より更に受注減少
 - ・銅価上昇
 - ・「米国工場での製品価格改定」目標未達
- 通期では固定費の削減等によりおおよそ見通しどおり



- 日本国内で電力価格反映交渉中
- 既存顧客、新規顧客共に新規案件に向けたサンプル供試を継続
- 操業の効率化により固定費圧縮等を引き続き実施

取組中
 収益化見込時期



2022年度内
竣工

2023年夏
試作開始

2023年末
製品供給

米国カムデン工場 改造工事後（外観）



- ◆ **工場所在地**
米国サウスカロライナ州 カムデン工場内
- ◆ **設備投資額**
26百万USドル
- ◆ **生產品種/生産能力**
車載電池用銅箔 / 年産 1,200トン
- ◆ **製品供給先**
米国内大手電池メーカー



次回発表 予定日

2023年

5月10日(水)



Contents

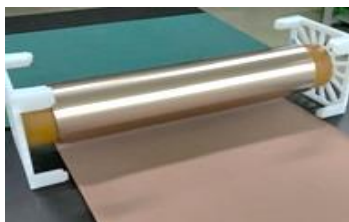
1. 2022年度 第3四半期累計 決算概要
2. 2022年度 連結業績予想および進捗状況
3. 参考資料

2021年度 製品別売上構成

回路基板用銅箔

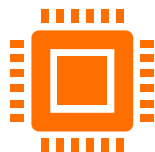
HL・Seed箔

密着性・低損失・高強度



用途

フレキシブルプリント配線板、
半導体パッケージ基板



主要最終製品



5Gスマートフォン



5G通信
基地局 等

車載電池用銅箔

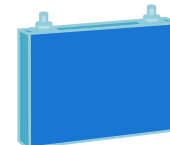
YB箔

高引っ張り強さ、高伸び率



用途

リチウムイオン二次電池 (LIB)



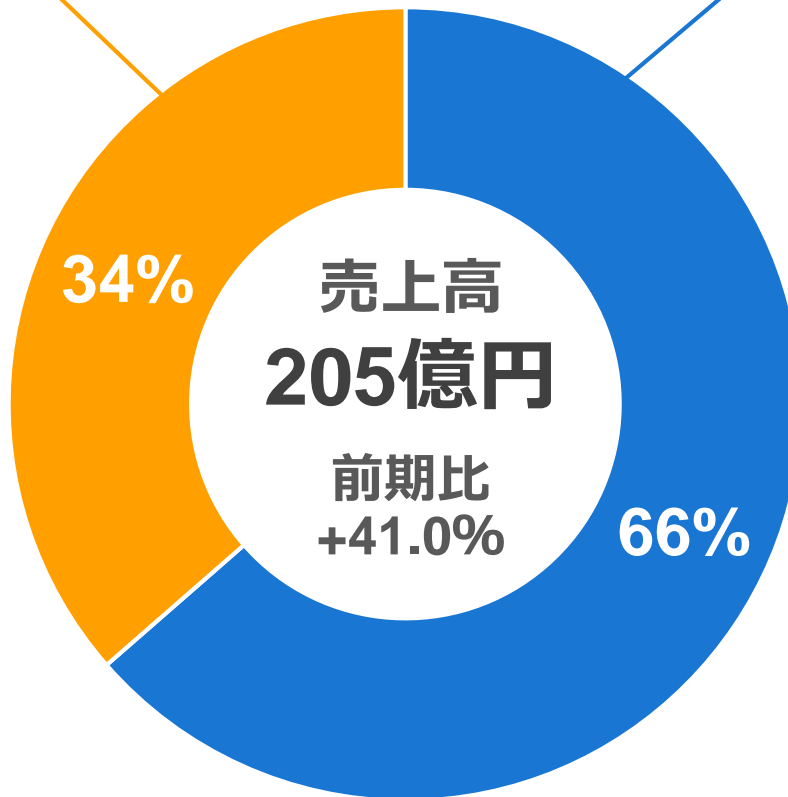
主要最終製品



EV



HV



EBITDA¹ 22億円
EBITDAマージン 11.1%

経営成績の推移（四半期・連結ベース）

(百万円)	FY2021 Q1	FY2021 Q2	FY2021 Q3 (A)	FY2021 Q4	FY2022 Q1	FY2022 Q2	FY2022 Q3 (B)	前年差 (B - A)
売上高	4,895	5,176	5,397	5,088	4,419	4,356	3,941	△1,456
うち 車載電池用銅箔	3,274	3,381	3,463	3,469	2,729	2,965	2,769	△694
うち 回路基板用銅箔	1,621	1,794	1,933	1,619	1,690	1,390	1,172	△761
売上原価	4,329	4,599	4,860	4,737	4,426	4,252	3,923	△937
売上総利益	566	576	536	351	△7	103	18	△518
売上総利益率 (%)	11.6%	11.1%	9.9%	6.9%	△0.2%	2.4%	0.5%	△9.4pt
販売費及び一般管理費	255	263	269	237	330	332	322	53
販管費比率 (%)	5.2%	5.1%	5.0%	4.7%	7.5%	7.6%	8.2%	3.2pt
営業利益	311	313	266	113	△337	△228	△304	△570
営業利益率 (%)	6.4%	6.0%	4.9%	2.2%	△7.6%	△5.2%	△7.7%	△12.6pt
経常利益	283	322	268	101	△318	△264	△471	△739
当期純利益	196	242	192	216	△294	△315	△384	△576
減価償却費	303	314	318	337	307	310	314	△4
EBITDA	614	627	585	451	△29	81	9	△576
EBITDAマージン (%)	12.6%	12.1%	10.8%	8.9%	△0.7%	1.9%	0.2%	△10.6%
生産トン数	3,053	3,181	3,073	2,627	2,074	2,172	2,345	△728

Denkaiグループ ESGへの取り組み

Environment

xEVの普及で、脱炭素社会の実現へ

当社では、車載電池用銅箔の供給及び高品質化を通じ、車載用リチウムイオン電池とxEVの普及に寄与し、**脱炭素社会、持続可能な社会の実現に貢献**いたします。

取り組みを通じて特に貢献可能なSDGsの目標



当社グループの銅材料は、**リサイクル銅100%**を使用しています。当社グループは、製造過程で発生する銅箔屑もリサイクルしています。

銅原料
リサイクル銅
100%



製造過程の
銅箔屑
再利用

取り組みを通じて特に貢献可能なSDGsの目標



Social

CSR年間活動

当社は社会貢献のため、CSR活動に積極取り組んでおります。工場周辺のゴミ拾い、ペットボトルキャップのリサイクル、パトラン活動、社会福祉施設からのパンの購入等を行っており、今後も様々な活動を通じ、地域社会から信頼され、共に発展できる企業を目指します。



取り組みを通じて特に貢献可能なSDGsの目標



Governance

健康経営（健康優良企業認定 銀の認定取得）

当社は健康経営を目指し、2022年6月7日に健康優良企業認定において銀の認定を取得しました。今後も、金の認定を目指し、社員の健康と安全に配慮した働きがいのある職場活動を創出していきます。

取り組みを通じて特に貢献可能なSDGsの目標



この資料の取扱いについて

本資料は、日本電解株式会社（以下「当社」といいます）及びその連結子会社の企業情報等の提供のみを目的として作成されたものであり、日本、米国、その他の地域における有価証券の販売の勧誘や購入の勧誘を目的としたものではありません。

本資料には、現在の予定、推定、見込または予測に基づく将来に関する記述が含まれています。この将来に関する記述は、本資料発表日現在において利用可能な情報をもとに、当社経営者が判断した内容に基づいております。将来に関する記述には様々なリスクや不確実性があり、様々な要因の変化等により、この資料に記載の内容またはそこから推測される内容と大きく異なることがありますことをご了承ください。



日本電解株式会社

Nippon Denkai, LTD.